

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公表番号】特表2007-514752(P2007-514752A)

【公表日】平成19年6月7日 (2007.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2007-021

【出願番号】特願2006-545462(P2006-545462)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

C 0 7 K 14/605 (2006.01)

C 0 7 K 14/575 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/24 Z N A

A 6 1 P 3/10

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/02

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 25/00

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/18

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/26

C 0 7 K 14/605

C 0 7 K 14/575

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月11日(2010.3.11)

## 【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 3 3

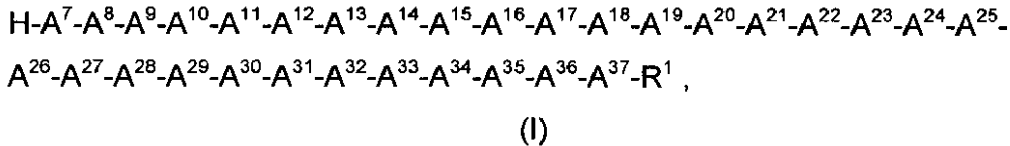
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 3 3】

前記 G L P - 1 類似体が式 ( I ) :

【化 1】



[ 式中 :

A<sup>7</sup>は、L - H i s であるか又は欠失され ;A<sup>8</sup>は、A l a、D - A l a、A i b、G l y、S e r、G l y、 - A l a、V a l、A c c、N - M e - A l a、N - M e - D - A l a又はN - M e - G l yであり ;A<sup>9</sup>は、G l u、N - M e - G l u、N - M e - A s p又はA s pであり ;A<sup>10</sup>は、G l y、A c c、 - A l a又はA i bであり ;A<sup>11</sup>は、T h r又はS e rであり ;A<sup>12</sup>は、P h e、A c c、A i c、A i b、3 P a l、4 P a l、1 N a l、2 N a l、C h a、T r p又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;A<sup>13</sup>は、T h r又はS e rであり ;A<sup>14</sup>は、S e r又はA i bであり ;A<sup>15</sup>は、A s p又はG l uであり ;A<sup>16</sup>は、V a l、A c c、A i b、L e u、I l e、T l e、N l e、A b u、A l a、1 N a l、2 N a l又はC h aであり ;A<sup>17</sup>は、S e r又はT h rであり ;A<sup>18</sup>は、S e r又はT h rであり ;A<sup>19</sup>は、T y r、C h a、P h e、3 P a l、4 P a l、A c c、1 N a l、2 N a l又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;A<sup>20</sup>は、L e u、A c c、A i b、N l e、I l e、C h a、T l e、V a l、P h e、1 N a l、2 N a l又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;A<sup>21</sup>は、G l u又はA s pであり ;A<sup>22</sup>は、G l y、A c c、 - A l a又はA i bであり ;A<sup>23</sup>は、G l n又はA s nであり ;A<sup>24</sup>は、A l a、A i b、V a l、A b u、T l e又はA c cであり ;A<sup>25</sup>は、A l a、A i b、V a l、A b u、T l e又はA c cであり ;A<sup>26</sup>は、L y s、A r g、h A r g、O r n、D a b、又はD a pであり ;A<sup>27</sup>は、G l u又はA s pであり ;A<sup>28</sup>は、P h e、3 P a l、4 P a l、1 N a l、2 N a l、A i c、A c c、A i b、C h a、T r p又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;A<sup>29</sup>は、I l e、A c c、A i b、L e u、N l e、C h a、T l e、V a l、A b u、A l a、P h e、1 N a l、2 N a l又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;A<sup>30</sup>は、A l a、A i b又はA c cであり ;A<sup>31</sup>は、T r p、2 N a l、3 P a l、4 P a l、P h e、A c c、A i b、C h a又は( X<sup>1</sup> )<sub>n</sub> - P h eであり ;

$A^{32}$ は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、1Nal、2Nal、Phe、 $(X^1)_n$ -Phe又はAlaであり；

$A^{33}$ は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Cha、Ala、1Nal、2Nal、Phe、Abu、Lys又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{34}$ は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab又はDapであり；

$A^{35}$ は、Gly、-Ala、Gaba、Ava、HN-CH(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-C(O)、Aib、Acc、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

$A^{36}$ は、L若しくはD-Arg、D若しくはL-Lys、D若しくはL-hArg、D若しくはL-Orn、L若しくはD-Dab、L若しくはD-Dapであるか又は欠失され；そして

$A^{37}$ は、Gly、-Ala、Gaba、Ava、Aib、Acc、Ado、Aun、Aec、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

$X^1$ は、それぞれの出現につき、それぞれの出現につき独立して、 $(C_1 \sim C_6)$ アルキル、OH、又はハロゲンであり；

$n$ は1、2、3、4又は5であり；

$R^1$ は、OH、NH<sub>2</sub>、 $(C_1 \sim C_{30})$ アルコキシ、又はNH- $X^2$ -CH<sub>2</sub>-Z<sup>0</sup>である{ここで $X^2$ は、 $(C_1 \sim C_{12})$ 炭化水素部分であり、Z<sup>0</sup>は、H、OH、CO<sub>2</sub>H又はCONH<sub>2</sub>である} ]による化合物である、請求項1～32のいずれか1項の組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

[ 式中：

$A^7$ は、L-Hisであるか又は欠失され；

$A^8$ は、Ala、D-Ala、Aib、Gly、Ser、Gly、-Ala、Val、Acc、N-Me-Ala、N-Me-D-Ala又はN-Me-Glyであり；

$A^9$ は、Glu、N-Me-Glu、N-Me-Asp又はAspであり；

$A^{10}$ は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；

$A^{11}$ は、Thr又はSerであり；

$A^{12}$ は、Phe、Acc、Aic、Aib、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal、Cha、Trp又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{13}$ は、Thr又はSerであり；

$A^{14}$ は、Ser又はAibであり；

$A^{15}$ は、Asp又はGluであり；

$A^{16}$ は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Abu、Ala、1Nal、2Nal又はChaであり；

$A^{17}$ は、Ser又はThrであり；

$A^{18}$ は、Ser又はThrであり；

$A^{19}$ は、Tyr、Cha、Phe、3Pal、4Pal、Acc、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{20}$ は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、Val、Phe、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{21}$ は、Glu又はAspであり；

$A^{22}$ は、Gly、Acc、-Ala又はAibであり；

$A^{23}$ は、Gln又はAsnであり；

$A^{24}$ は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；

$A^{25}$ は、Ala、Aib、Val、Abu、Tle又はAccであり；

$A^{26}$ は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab、又はDapであり；

$A^{27}$ は、Glu又はAspであり；

$A^{28}$ は、Phe、3Pal、4Pal、1Nal、2Nal、Aic、Acc、Aib、Cha、Trp又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{29}$ は、Ile、Acc、Aib、Leu、Nle、Cha、Tle、Val、Abu、Ala、Phe、1Nal、2Nal又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{30}$ は、Ala、Aib又はAccであり；

$A^{31}$ は、Trp、2Nal、3Pal、4Pal、Phe、Acc、Aib、Cha又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{32}$ は、Leu、Acc、Aib、Nle、Ile、Cha、Tle、1Nal、2Nal、Phe、 $(X^1)_n$ -Phe又はAlaであり；

$A^{33}$ は、Val、Acc、Aib、Leu、Ile、Tle、Nle、Cha、Ala、1Nal、2Nal、Phe、Abu、Lys又は $(X^1)_n$ -Pheであり；

$A^{34}$ は、Lys、Arg、hArg、Orn、Dab又はDapであり；

$A^{35}$ は、Gly、-Ala、Gaba、Ava、HN-CH(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-C(O)、Aib、Acc、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

$A^{36}$ は、L若しくはD-Arg、D若しくはL-Lys、D若しくはL-hArg、D若しくはL-Orn、L若しくはD-Dab、L若しくはD-Dapであるか又は欠失され；そして

$A^{37}$ は、Gly、-Ala、Gaba、Ava、Aib、Acc、Ado、Aun、Aec、D-アミノ酸であるか又は欠失され；

$X^1$ は、それぞれの出現につき、それぞれの出現につき独立して、(C<sub>1</sub>~C<sub>6</sub>)アルキル、OH、又はハロゲンであり；

nは1、2、3、4又は5であり；

$R^1$ は、OH、NH<sub>2</sub>、(C<sub>1</sub>~C<sub>30</sub>)アルコキシ、又はNH-X<sup>2</sup>-CH<sub>2</sub>-Z<sup>0</sup>である{ここでX<sup>2</sup>は、(C<sub>1</sub>~C<sub>12</sub>)炭化水素部分であり、Z<sup>0</sup>は、H、OH、CO<sub>2</sub>H又はCONH<sub>2</sub>である} ]による化合物である、パラグラフ(32)の組成物。